

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：税務課
 担当名：DX推進担当
 内線：2748

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P20	税務行政のDX化推進事業			一般会計	総務費	徴税费	賦課徴収費	税務システム維持管理費		
事業期間	令和 5年度～	根拠法令				針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 9	
						分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット 9-1	
1 事業概要 税務ネットワーク内に文書管理システムを導入し、現在紙で行っている税業務の電子化を実現するとともに、将来のテレワーク実現に向けた準備を行う。 (1) 文書管理システム構築 △1,500千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 文書管理システム構築 29,685千円 → 28,185千円 マイナンバー利用事務系ネットワークに文書管理システムを構築するための要件定義を行う。 イ テレワーク導入を見据えた税務システム環境調査 6,581千円 テレワーク導入を見据えてシンククライアント導入に係る条件調査を行う。 (2) 事業計画 ア 文書管理システムを構築するための要件定義を行う。 (ア) 文書事務上の課題を抽出するための業務棚卸を実施 (イ) 業務改善につながる機能の調査及び導入機能の決定 (ウ) 導入システムの要件定義 イ シンククライアント導入に係る条件調査を行う。 (3) 事業効果 ア 税務事務をデジタル化し、業務の簡素化や手順の改善が図られる。 イ 業務管理の高度化が実現する。 ウ 効率的な税務事務の実現により、職員が複雑・困難な事案へ集中することで、更なる税収確保につながる。 (4) 補正予算の概要 ア 文書管理システム要件定義業に係る契約差金による減額						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,500							△1,500	34,766	
現計額	36,266							36,266		

事業内訳書

事業名	税務行政のDX化推進事業		
単位事業名	文書管理システムの導入事業	予算額	△ 1,500千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1,500	—	
合計	△1,500	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△1,500	—	契約差金による減額
合計	△1,500	—	